

# (仮称) 食品工業人材育成強化ワーキンググループの立ち上げについて

## 外部環境

- ・ 経済のグローバル化の進展
- ・ 技術革新、情報化の進展
- ・ 社会構造、ライフスタイル等の変化
- ・ 食品の安心・安全への関心の高まり
- ・ 少子高齢化の進展と人口減少社会の到来

## 現 状

- ・ 食品工業は、本道における重要な産業の一つ  
全製造業に占める割合
 

事業所数	35.7%	(2,411カ所)
従業者数	46.5%	(8万8千人)
製造品出荷額	37.4%	(2兆1,480億円)

 (H19 工業統計)
- ・ 原材料、生鮮食品としての供給源的な性格が強い
- ・ 地域資源を活用した加工食品づくりが求められている
- ・ 有効求人倍率が高く、慢性的な人手不足

## 課 題

- 【人材育成関連】
    - ・ 生産管理、品質管理技術の向上
    - ・ 製品開発など技術力の向上
    - ・ 販路開拓など営業力の向上
    - ・ コンプライアンス意識の向上
    - ・ 経営戦略の策定
    - ・ 企業の情報化の推進
    - ・ HACCPなど安全・安心に向けた取組
  - 【その他】
    - ・ 人手不足の解消  
(過疎、高齢化、少子化、賃金・作業環境などの労働条件から敬遠)
    - ・ 原材料の安定確保
- 付加価値の向上

## 連携会議でのコメント

- ・ コンプライアンスを強調すべき
- ・ 付加価値の向上、食のブランド化を先に取り組むべき
- ・ 労働条件、労働環境など経営改善の取り組みも必要
- ・ 生産管理の取り組みも必要
- ・ 付加価値向上のためにも人材育成は必要
- ・ 人材育成について、経営者の理解を得るのが難しい

地域に根ざした産業であり、道内経済の活性化には不可欠な分野

## 振 興 方 策

- ・ 高付加価値化
- ・ 海外向け加工食品の開発
- ・ 道産食品の信頼性向上
- ・ 地域ブランドづくりの推進
- ・ 公設試験研究機関等の機能充実
- ・ 経営者の意識改革と人材の育成
- ・ ブランド化の取組
- ・ 安全・安心の取組

## (仮称) 食品工業人材育成強化ワーキンググループ

### 検討の視点

- ・ 恒常的に雇用吸収力のある産業  
(雇用情勢が厳しい中、地域にある雇用機会を着実に求職者に結びつけることが必要)
- ・ 製品の付加価値向上に向けた人材育成
- ・ 働く人々から見て魅力ある産業に

### 構成メンバーのイメージ

- ・ 食品関係業界団体《新》
- ・ 商工関係団体《新》
- ・ 日本政策投資銀行《新》
- ・ (独)雇用・能力開発機構
- ・ (独)中小企業基盤整備機構北海道支部
- ・ (財)北海道中小企業総合支援センター
- ・ 北海道経済産業局 ・ 北海道労働局 ・ 北海道